



コメント：北海道 美瑛 白金青い池

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- ❦ 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- ❦ 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- ❦ かかりつけ医との連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



赤磐医師会病院



新年挨拶 謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人赤磐医師会 会長 滝澤 貴昭



昨年、赤磐医師会病院においては、病院の中核となるべき常勤の外科医・内科医が相次いで就任され、今後の病院運営にとっては大変心強く嬉しい出来事でありました。

赤磐医師会病院は1982年にベッド数121床でオープンしました。開設は、我々の先輩医師会会員達のとてつもない情熱と苦難の連続だった資金集め、岡山大学各診療科のご協力などにて成し遂げられました。その後1988年に196床に増床、へき地医療補助金など国や県からの財政支援のもと、CT スキャン・MRI・人工透析センター・内視鏡センターなど、高度医療に必要な装備が整えられました。2015年に赤磐市立熊山病院との再編に伴い大規模な増改築を行い245床に増床するとともに、回復期リハビリ病棟や地域包括ケア病棟という高齢者のリハビリならびに在宅療養への早期復帰を促す体制が構築できました。2011年に、旧館の耐震補強工事は完了していますが、現在、給排水や空調設備をはじめとするライフラインの老朽化が進んでおり、早急な対応が迫られています。しかし昨今の建築工事費・物価の高騰は、病院の整備計画の大幅な変更を余儀なくされています。

さて日本中で開業医の高齢化に伴い中山間地域においては医院の閉鎖が相次いでおり、赤磐・東備地域も例外ではありません。一方でバスなどの交通手段の利用も困難となりつつあり、地方行政機関や民間タクシー会社が運営するデマンドバス・デマンドタクシーの利便性も、必ずしも満足できる水準には達しそうにありません。

そのような時代にあって、赤磐医師会病院がいかにして地域医療を堅持していくのかは、我々にとってとても大きな課題となっています。

赤磐医師会病院は、多くの公的病院と同様に厚生労働省の定める紹介受診重点医療機関に認定されております。「紹介受診重点医療機関とは、かかりつけ医などからの紹介状を持って受診いただくことに重点をおいた医療機関であり、手術・処置や化学療法等を必要とする外来などの高額な医療機器・設備を必要とする外来などを行っている病院です。紹介状のありなしにかかわらず受診は可能ですが、紹介状がなく来院された場合は、医療保険の一部負担金とは別の「特別の料金」が原則必要となります」とされています。医師会病院は、設立当初から身近なところにかかりつけ医を持っていただき、そちらからの紹介状を持参していただくことを原則としていたので、最近できた国の制度の追従ではありません。なお紹介状なしの受診に際しても、当院は地域性を鑑みて追加の負担金はいたいたしません。しかしながら、そもそもかかりつけ医を持ちたくても自宅の近隣に医院がなくなってしまったということもあるでしょう。そのような現状や将来を念頭において、患者さんが紹介状を持たないで受診できるような診療科も設ける必要があろうかと考えています。今後更に慎重な議論が必要となりますが、住民の皆様・患者さんにおかれましてはご理解を賜れば幸いです。

住民の皆様のご多幸と職員一同の健康をお祈りいたします。





皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症は散発的な流行を繰り返すものの、大きな社会的問題となることもなく、ウィズコロナは既に生活の中に定着したと思います。それに伴い、コロナ禍で事実上凍結していた議論が再開されることとなり、増え続ける社会保障費の圧縮のために、これまで進められてきた急性期病床数の削減政策など、病院に対する圧力が一層強まることを覚悟しておりました。しかし、ここに来て少し様子が変わってきました。

コロナ禍前までは、医療費削減を目的として、国が病院の許可病床数を半強制的に減らす方策を議論していたのですが、医療業界の激しい反発によって実現できずにいました。しかし、在宅療養の推進や介護施設の頑張り等もあって、高齢者の医療に対する需要は地方を中心に多くの地域で既にピークに達している可能性があります。いわゆる“多死社会”は既に現実のものとなっており、多くの病院にとって、今後は急速に“患者不足”に対応しなければならなくなってきていると思います。実際、病院が密集する岡山市中心部の急性期病院でさえ、コロナ禍後の病床稼働率はそれ以前より低下しており、当院もその例外ではありません。

こうした国の動きを例えるならば、少子化に対応するために市内中心部の小中学校区を統廃合しようとする場合、強制的に統廃合を行おうとすれば地域住民の激しい反発に合い、多くの場合一旦は計画が頓挫しますが、徐々に生徒数が減少してクラスが維持できなくなると、予算の確保や学校行事に支障をきたすようになり、学校が著しく疲弊するのを待って、統廃合の手を差し伸べようと言うやり方に方針転換したのだと思われます。

したがって、当院における医療需要も、今後当面は緩やかに減少していくことを想定せざるを得ません。国からあからさまに強制される機会が減ったとしても、今後患者数が確実に減少していくであろうことを十分理解し、それに対応した組織の効率化を自ら率先して行わなければならないと思っています。合わせて、当院では病院の老朽化に伴い、増改築に関する検討を既に開始しておりますが、将来の医療需要と地域において必要とされる役割を天秤にかけながら、バランスの取れた施設が出来上がるよう、提案をして参りたいと考えています。

当院は今後も当地域の医療を担う“核”であり続ける所存ですので、引き続き皆様方のご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

副院長新任挨拶



副院長 藤原 敬士

この度、大塚基之教授（岡山大学消化器・肝臓内科学）よりご推薦いただき、令和6年10月1日付けで赤磐医師会病院へ赴任いたしました。内視鏡センター長も務めさせていただいております。

異動前は岡山市内にある光生病院で15年間、一般内科と消化器内視鏡診療に従事しておりました。

また、光生病院赴任前は福山医療センターに勤務しておりましたので、診療顧問の友田先生とは再び一緒させていただくこととなり、新任地ながら少し懐かしく仕事をさせていただいています。

医師会の先生方との連携、院内の委員会、病棟編成など、慣れないこともあります。佐藤院長にご指導いただきつつ微力ながら地域医療のお役に立てればと思っています。

病院機能評価を受審して

総務課 杉山 昌聡



令和6年3月6・7日の2日間にわたり公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価を受審し、同機構が定める認定基準（一般病院1）の基準を満たす病院として4回目の認定を受けました。

病院機能評価とは、病院の質の向上を目指して実施している審査制度です。

平成24年に当院は初めて病院機能評価を受審し、継続的に病院の質向上に努めてまいりました。今後も認定病院として、安心・安全な医療を提供するとともに、地域の皆さまから信頼される病院を目指して職員一丸となって努力してまいります。

接遇研修会開催

看護部長 藤本 由紀子

出来ているようでできないのが接遇マナーですが、改めて医療従事者の中で「接遇」が求められるのはなぜか？と問われると

- 患者様に安心して来院してもらうため
- 個人を尊重し、医療現場を居心地の良い空間にするためとありました。

そこで、令和6年11月21日(木)株式会社エバルスの平田清美先生にお越しいただき、接遇研修をして頂きました。

平日の14時から1時間の開催でしたが、職員69名の参加があり、関心の高さが伺えました。

「肯定言葉を実践していきたい」「患者、家族への対応など忙しくてもきちんと丁寧に行動しなければならぬ」と再確認した」などの感想があり、今後もこのような研修を継続し接遇マナーに則って医療看護に努めてまいります。





みなさんよろしくお願ひします。

★新人紹介★

新しく仲間になった皆さんに
質問してみました。



青江 一真

- ①内科
- ②パスタ
- ③楽器



石井 智大

- ①内科 (腎臓内科)
- ②ホームシアターの製作
- ③釣り、焼肉

長江 桃夏

- ①内科
- ②penthouse というバンドを推しています
- ③たべっこどうぶつ

育吉 陽子

- ①事務
- ②断捨離
- ③猫 あつい風呂

竹原 和恵

- ①事務
- ②犬や猫の動画を見る
- ③猫 小説を読むこと

清家 恵

- ①看護師
- ②YouTube やインスタのリールで料理を作っているのを見ること
- ③子供と遊ぶこと 料理をすること (凝った料理はあまり喜んでくれない泣)

内田 明美

- ①保育士
- ②パソコンでメッセージカード等を作ること シグソールパズルをすること
- ③YouTube・TVer で昔のテレビドラマを見ること

石野 恵

- ①事務
- ②お笑い芸人の YouTube を見ること
- ③韓国ドラマ 韓国料理

大森 菜緒

- ①看護師
- ②大食いの人 YouTube
- ③お寿司 アイス

西田 莉沙

- ①看護師
- ②お菓子作り
- ③ドライブ

塩見 宏米

- ①医事課
- ②子供イベント探し
- ③歌

山本 優

- ①看護師
- ②ドラマを見ること
- ③チョコレート



第18回 赤磐医師会・医師会病院 合同ボウリング大会



2024. 11. 22

令和6年11月22日(金)午後7時30分より、瀬戸内市の「コーシンボウル」にて、医師会・病院合同ボウリング大会を開催しました。

今回はコロナ禍を経て5年ぶりの開催であり、医師会会員の先生方とその職員の方々を始め、医師会病院からは2才児から大人まで、計94名と多くの参加があり、大変盛大な会となりました。

開会にあたり、佐藤敦彦院長の挨拶の後、滝澤貴昭医師会長の始球式を合図にスタートしました。その後、子どもから大人まで、歓声をあげながら2ゲームを楽しみ、親睦をより深めることができました。

表彰式では、優勝から飛び賞、キッズ賞など、多くの賞品が授与され、短い時間ではありましたが、笑いが絶えず、リフレッシュできるよい機会となりました。

医師会事務局 山崎 明子

ランキング

- 優勝 高田 直明 (赤磐医師会病院) 167,165
- 2位 阿部 真也 (赤磐医師会病院) 154,149
- 3位 西井 照美【レディース賞】 (こしむね瀬戸クリニック) 136,140
- 4位 西 貴誠 (赤磐医師会病院) 111,164
- 5位 納 みきこ (こしむね瀬戸クリニック) 148,112



赤磐医師会病院 外来診療・検査担当表

令和7年1月1日より

	月	火	水	木	金	土
外来診療・健康診断	内科一診	藤原 敬士	平井 通雄	藤原 敬士	平井 通雄	石井 智大
	内科二診	沼本 紘輝	中村 真	担当医	瀧川 雄貴	担当医
	内科三診	青江 一真	郷田 真由	大村 大輔	長江 桃夏	
	内科午前 (予約外来)	灘 隆宏 (予約制)	佐藤 敦彦 (予約制)	友田 純 (予約制)		
	内科午後 (予約外来)	佐藤 敦彦 (予約制)				
	外科	片岡 正文 (呼吸器・一般)	宮木 功次	荒木 宏之 仁熊 健文	片岡 正文 (呼吸器・一般)	宮木 功次 蓮岡 英明 (第3)
	整形外科	片山 信昭	*1 金光 俊	片山 信昭		片山 信昭 (第2・4) 金光 俊
	リウマチ外来 (予約・紹介制)		*2 片山 信昭			
	上肢・手の外科 (予約・紹介制)				*3 今谷 潤也	
	泌尿器科			*4 渡部 智文		渡邊 豊彦
	呼吸器内科 (予約・紹介制)		工藤 健一郎	藤原 慶一	松尾 潔	
	糖尿病内科 (予約・紹介制)	*5 大宮 照明	*5 岡崎 悟	*5 前田 英紀		前田 英紀
	循環器内科 (予約・紹介制)	兼澤 弥咲	*6 浅田 早央 赤木 達		*7 赤木 達	
	腎臓内科 (予約・紹介制)		大宮 照明			
	膠原病内科 (予約・紹介制)		*8 勝山 恵理			
	脳神経内科 (予約・紹介制)				石田 将大	
脳神経外科 (予約・紹介制)					山下 太郎	
健康診断	平井 通雄	草地 省蔵	草地 省蔵	担当医	友田 純	担当医 (第1・3)

診療受付時間：午前8時30分～午前11時

整形外科	*1 火曜日	午後1時～午後3時
リウマチ外来	*2 火曜日	午後1時～午後3時
上肢・手の外科	*3 木曜日	午前9時30分～午前11時
泌尿器科	*4 水曜日	午前8時30分～午前12時
糖尿病内科	*5 月・火・水曜日	午後2時～午後4時
循環器内科	*6 火曜日	午前8時30分～午前11時 午後2時～午後4時
	*7 木曜日	午前8時30分～午前11時 午後1時30分～午後4時
膠原病内科	*8 火曜日	午後2時～午後4時

※都合により休診になることがあります。



- コ ミュニケーション (対話)
- ス メール (笑顔)
- モ ビリティ (機敏性)
- ス キル (技術)

新年あけましておめでとうございます。お正月はいかがお過ごしでしたか？暖くなるのはもう少し先ですが、お体を冷やさないよう頑張ってください。今年は巳年ですね。無“蛇(じゃ)”気に笑って過ごせる、“巳(み)”のり多き年となりますようお祈りいたします。
 (編集部 寺田)

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1
 TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946
 HP <https://www.akaiwa-mah.jp/>
 発行日 令和7年1月15日

